

有水中学校校長室より

令和4年6月10日(水)

文責 木宮 崇子

前回の通信の保護者の皆様へのお題「勉強について」をお願いしたところ、何人かの生徒が、校長室に返信を持ってきてくれました。その上 PTA 総会の際にお願いした内容についての回答をくださる方もいて、有り難い気持ちで一杯です。返信を書いてくださった保護者の方、また、私のリクエスト通り、直に校長室に届けるよう**指令**を出してくだだったこと、ありがとうございます。生徒が校長室に来ることはほとんどありません。来室のあいさつを聞く度にうれしくなっていました。これから、保護者の方々の考えや願い、経験談は、この通信に生かしていく他、生徒に話をするときの材料として活用させていただきます。

勉強について

- 目標が定まらず、何のために勉強しないといけないのか分からない時期もあった。大人になって、もう少し勉強すればよかったと思う。
- 勉強は苦手です。でも大人になってもっと勉強していたらよかったと思うことがたくさんある。“大人”“今”にならないと気がつかないことがある。自分自身も研修や試験で勉強している。勉強はずっと続け、知って損することはない、今しっかり勉強しなさいと子どもには言っている。
- 国語の教科書に載っていた短編小説に感動して読書が好きになった。様々なジャンルの本を読むきっかけとなった。中学校の3年間は学ぶことが楽しかった。学ぶことは楽しいし、先人の考え方を知るチャンスです。
- いつもは、学習について説教している私だが、勉強はとてつもなく大嫌だった。頭のいい兄弟と比べられていたので、私は子どもたちを絶対に比べたりしない。個人差があるからおもしろい!
- いつも必要に迫られて、やらねばならない、当たり前のこととしてとらえてやっていたので、苦痛に感じたことも多かったと思う。大人になった今、仕事上やらなければならないこともあるが、やりたいことに繋がっているのも、楽しく、どんどん前に進む気がする。
- 数学が好きだったので、応用問題を解けることがおもしろくて、諦めずに考えて解くようにしていた。ギリギリにならないと取り組まない性格だったが、子どもを見ていても同じような傾向があるので、気持ちがよく分かる。将来の夢、目標の幅を広げることができるので、勉強はがんばってほしい。
- 中学時代は両親から、「学校での授業をしっかり聞いて分からないことは先生や友達に聞きなさいね」といわれていて、近所の先輩に教えてもらったりしていた。社会人になって、不要だったり、必要だったりだが、頭の中に残っているものであり、勉強していたことに無駄はないと思う。

いただいたご意見を紹介させていただきました。(省略の部分もあります)。参考になりますし、説得力がありすぎて私がいろいろと述べることはないですね。(笑)私自身、中学生時代に勉強はしたとは思いますが、「楽しい」とか「好き」とか「必要なこと」と感じたことはなかったように思います。どの保護者の方も一様に「もっと勉強しておけばよかった」「がんばってほしい」との言葉がありました。。確かに私もそう思います。この後悔の念や願いをどうやって生徒に伝え、理解させようか……。試行錯誤していくのが大人の使命ですね。

次回の通信は【中学生の健康な生活】について考えてみたいと思います。

PTA 総会の際にお渡しした文書の中にあった「生き抜く力とは何ですか?」という問いの答えの中に【健康であること】と回答してくださった保護者の方がいらっしゃいました。ある程度年齢が上がれば、何となく健康については心のどこかに引っかかってくるものですが、中学生の健康となるとあまり考えることもないのが現状ではないでしょうか。ご家庭で、地域で、子どもたちの生活を見て感じる健康の問題点や、家庭で気を配っていること、など【中学生の健康な生活】について、ご意見をください。引き続き「直接校長室に持って行くだよ」と伝えてください。よろしくお願いします。

き り と り

年

生徒名

保護者名

